



喜小だより



令和3年9月24日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

実りの多い教育活動をめざして

「天高く馬肥ゆる秋」とはよく言ったもので、イチョウの銀杏や赤松の松ぼっくり、白樺のドングリなど、校庭の木々はたくさんの実を付けています。子どもたちの学習の様子も、学びに向かう姿勢がしっかりとできてきて、学力という実が確実に大きく色づいてきているように感じています。

さて、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発令される中ではありますが、全体的に感染者数が減少しており、また、さくら市においては、新規感染者がでていない状況が続いており、少しだけほっとしています。メールや通知でもお知らせしたように、今週は特別日課（午前中5時間）の午前中授業（給食後下校）、来週は水金日課での5校時（給食後第5校時を実施）、再来週から通常日課になるという段階的に通常日課に戻していくことになりました。いずれにしても、気を緩ませることなく、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への対策を行いつつ、学校教育活動が充実できるよう学校運営を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

また、オンライン模擬授業へのご協力、ありがとうございました。多様な学習方法を実践することができ、課題等も確認することができました。



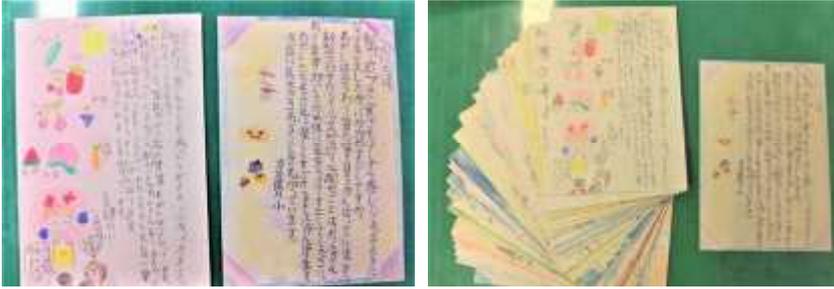
オンライン模擬授業

オンライン模擬授業の一場面です。今回は、学習の機会を確保するとともに、臨時休業や学年閉鎖に備えて、学年ごとにチームを組んで模擬授業を実施しました。回を増すごとに、子どもたちも、先生方もオンライン授業に慣れてきました。課題の提出や返却等もでき、少しずつ充実してきています。



4年生 総合的な学習の時間での活動

本校の4年生の総合的な学習の時間では、福祉について学習します。その一貫として、さくら市の社会福祉協議会から依頼があった「お年寄りへの手紙」を書きました。「敬老の日」、高齢者の皆様に届き、少しでも元気づけられればという思いで、一生懸命書きました。



いちご一会花リレー

令和4年度のとちぎ国体に向けて「いちご一会フラワーズ」に参加しています。「きれいな花で、来県者をおもてなししよう」という取組です。環境美化委員会の子どもたちが、各学級で決めたメッセージが貼ってあるプランターに、花苗を植えていきました。



学校を心が温くなる言葉でいっぱいになろう

「学校を心が温くなる言葉でいっぱいになろう」の活動をしています。各学級で話し合い、たくさんの「心が温くなる言葉」が集まり、各教室や階段に貼ってあります。これを見ながら、心がお互いが温くなる環境作りを進めていきます。



挨拶いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい



喜連川小学校の
ホームページで
ぜひご覧ください。

喜小っ子ルールのはりかえり（4～7月）

学校には守るべきルール「喜小っ子ルール」があります。学習や学校生活に関することや、安全な登校に関する事など様々です。この中から特に大切にしていること10項目を、夏休み後にアンケートを実施しました。あいさつや話を聞くことなどの達成率の高い項目もありますが、「学習の準備」「チャイムの合図」「室内の歩行」「言葉づかい」等は達成率が低くなっています。このアンケート結果をもとに、12月まで重点的にがんばることを各学級で話し合いました。ルールを意識した生活ができるように励ましています。

